

「市町村公文書管理シンポジウム」の感想等（アンケート記述式項目から一部抜粋）

4. 第一部（基調講演、講演）について、ご感想やご意見をお聞かせください。

<p>（知りたかったことは）永年文書をどのように分けていくか。レコードスケジュールの具体的方法。また、アメリカでは公文書は起案文書のみでなくメモ、電話のやりとりも含まれることがわかった。</p>
<p>文書のライフサイクルという考え方やレコードスケジュールなど、初めて知ることが多く、とても勉強になった。当市でも歴史公文書をどこで所管するかについては総務課と調整しているが、総務は「市史の仕事」という認識があり、総務でやるべきと説明してもなかなか理解してもらえない現状がある。今日の講演を聞いて改めて総務課として歴史公文書の取扱いに関して意識を変えていく働きかけをしてきたいと思った。</p>
<p>文書のライフサイクルの考え方、レコードスケジュールの方法など、改めて勉強になるテーマが多く、参加して良かった。現在は業務の一つとして歴史公文書を収集・保管しているが、行政全体で管理する必要があると感じているが、道半ばかなと思う。総務課の文書法規担当とも情報共有、意識改革をして、記録を残すことの重要性、必要性を広げていければと思う。</p>
<p>非現用文書の選別方法等、質問できてよかったと思います。何よりも公文書管理する県と名刺交換、情報の共有ができたのが良かったと思います。今後とも連携、是非宜しくお願いします。</p>
<p>現用文書、非現用文書について勉強ができて良かった。</p>
<p>公文書管理の理念について改めて理解できた。</p>
<p>法整備の背景、各市町村の問題点などわかりやすいお話でした。</p>
<p>自分達の文書管理規程を客観的に観ることができ、多くの改善点があることが分かったので良かったです。</p>
<p>各市町村の文書管理の問題点を取り上げていただけて、気づき、解決方法の手助けをしてもらえることがわかって良かったです。</p>
<p>基調講演では、国の文書管理手法や基本理念等のお話があり、とても参考になりました。文書管理に問題を抱えている当市でも職員研修の講師としておまねきしたいです。</p>
<p>公文書の管理についての国の流れ等がわかって勉強になりました。公文書についての考え方についてもある程度、整理ができました。</p>
<p>わかりやすかった。</p>
<p>とてもわかりやすい講演でした。これからも講演会等を続けていただきたい。文書管理を見直すキッカケとなった。</p>
<p>文書取扱規程に関する事や、公文書について非常に勉強になった講演会でした。当市についても永年保存を含め、保存文書の保存・廃棄についての判断が非常に難しい面もあり、課題が山積しています。今回の基調講演をふまえ適正な文書管理に努めていきたい。</p>
<p>沖縄の歴史について、勉強になった。レコードスケジュールについてとても勉強になった。</p>

5. 第二部（ディスカッション）について、ご感想やご意見をお聞かせください。

<p>他市町村も、当市と同様の問題をかかえていることが分かり、もっと情報を共有しながら解決へ向けて全体で取り組んでいけたらと思う。組織内の意識改革はなかなか難しいので、動かす力を他市町村からもいただけたらと思う。</p>
<p>他自治体の現状がきける良い機会となりました。</p>
<p>参加している自治体が少なく残念だった。時期的にも都合があると思うが、まだ意識が低いのかと感じた。</p>
<p>西原町や那覇市のお話が参考になりました。</p>
<p>他市町村の話が聞けたのが良かったです。</p>

他市町村の現状を聴くことができて良かった。歴史的文書について情報共有ができて良かった。

7.シンポジウムに参加する前と後での公文書管理に関する意識の変化の理由

公文書管理に関する知識が全くないため。

歴史的文書は重要であるという認識は以前から持っていたが、それをより認識した。総務課にもこの認識を投げていきたいと思う。

歴史公文書を残す必要性や重要性については、意識して取り組んできたこともあり、シンポジウムに参加して変わったのではなく、より意識が強くなったと思う。

歴史公文書の重要性を学ぶことができた。

改めて市として公文書の管理についての気運をつくりたいと思った。

アメリカのように意思決定過程の記録が残るような文書作成を心がけていきたい。

公文書館の機能が必要だということは前々から感じていたので、今後のことを考えるいいきっかけになった。

※その他のコメント

文書統括担当として参加しました。歴史的文書の保存する流れを改めて、見直していきたいと思います。また、現用文書の管理にも多くの課題があります。今後もこのような機会をぜひ設けていただきたいと思います。ありがとうございました。